

記者発表資料

平成29年5月18日（木）

総務部危機管理課（防災情報係）

担当：小山（内線261）

## 北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における全国瞬時警報システム（Jアラート）による情報伝達について

平成29年5月9日付で、内閣官房の『国民保護ポータルサイト』、「北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における全国瞬時警報システム（Jアラート）による情報伝達について」の内容が変更されました。

- 変更により、北朝鮮からのミサイル発射後、日本に落下もしくは通過する可能性がある場合、第一報の段階で避難を呼びかける文言が追加されました。
- 北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、24時間いつでも全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用し、緊急情報が伝達されます。
- Jアラートによる情報伝達は、国民保護に係る警報のサイレン音を使用し、弾道ミサイルに注意が必要な地域の方に、幅広く行われます。

※なお、政府は状況に応じて送信するため、メッセージを全て送信するとは限らないとのことです。

※この内容は、市ホームページへ掲載しています。

※詳細については、国民保護ポータルサイト（<http://www.kokuminhogo.go.jp/>）をご覧ください。

全国瞬時警報システム（Ｊアラート）による情報伝達のメッセージの変更について

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合におけるＪアラートによる情報伝達について、今般、伝達する文言を次のとおり変更しました（赤字が変更箇所）。

なお、下記のメッセージは、状況に応じ、変更する可能性があります。

(1) 日本の領土・領海に落下する可能性があるとは判断した場合

① ミサイル発射情報・避難の呼びかけ	
旧	新
ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。 先程、北朝鮮からミサイルが発射された模様です。続報が入り次第お知らせします。	ミサイル発射。ミサイル発射。 北朝鮮からミサイルが発射された模様です。 <b>頑丈な建物や地下に避難して下さい。</b>

↓

② 直ちに避難することの呼びかけ	
旧	新
直ちに避難。直ちに避難。屋内に避難して下さい。ミサイルの一部が落下する可能性があります。屋内に避難して下さい。	直ちに避難。直ちに避難。 <b>直ちに頑丈な建物や地下に避難して下さい。</b> ミサイルが落下する可能性があります。 <b>直ちに避難して下さい。</b>

↓

③ 落下推定情報（日本の領土・領海に落下）	
旧	新
ミサイル落下情報。ミサイル落下情報。 ミサイルの一部が●●地方に落下した可能性があります。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。	ミサイル落下。ミサイル落下。 ミサイルが●●地方に落下した可能性があります。 <b>続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。</b>

(2) 日本の領土・領海の上空を通過した場合

① ミサイル発射情報・避難の呼びかけ	
旧	新
ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。 先程、北朝鮮からミサイルが発射された模様です。続報が入り次第お知らせします。	ミサイル発射。ミサイル発射。 北朝鮮からミサイルが発射された模様です。 <b>頑丈な建物や地下に避難して下さい。</b>



② 通過情報	
旧	新
ミサイル通過情報。ミサイル通過情報。 先程、この地域の上空をミサイルが通過した模様です。	ミサイル通過。ミサイル通過。 先程、この地域の上空をミサイルが通過した模様です。 <b>不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。</b>

(3) 日本の領海外の海域に落下した場合

① 発射情報	
旧	新
ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。 先程、北朝鮮からミサイルが発射された模様です。続報が入り次第お知らせします。	ミサイル発射。ミサイル発射。 北朝鮮からミサイルが発射された模様です。 <b>頑丈な建物や地下に避難して下さい。</b>



② 落下推定情報 (日本の領海外の海域に落下)	
旧	新
先程のミサイルの続報をお知らせします。 先程のミサイルは、●●海に落下した模様です。	先程のミサイルは、●●海に落下した模様です。 <b>不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。</b>

ホーム > 参考資料 > 武力攻撃やテロなどから身を守るために > 北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本に影響があり得る場合における全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報伝達について

## 北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報伝達について

北朝鮮は過去に例を見ない頻度で弾道ミサイルを発射し、平成28年8月以降、弾道ミサイルの弾頭部分が日本の排他的経済水域 (EEZ) 内に落下する事案も起こっています(※1)。

政府としては、いかなる事態にも対応することができるよう緊張感をもって必要な対応に万全を期しているところです。

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する場合、弾道ミサイルは極めて短時間で日本に飛来することが予想されます(※2)。仮に、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、政府としては、24時間いつでも全国瞬時警報システム (Jアラート) を使用し、緊急情報を伝達します。北朝鮮が予告することなく弾道ミサイルを発射した場合には、政府としても、事前にお知らせすることなく、Jアラートを使用することになります。

Jアラートを使用すると、市町村の防災行政無線等が自動的に起動し、屋外スピーカー等から警報が流れるほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信されます(※3)。なお、Jアラートによる情報伝達は、国民保護に係る警報のサイレン音を使用し、弾道ミサイルに注意が必要な地域の方に、幅広く行います。

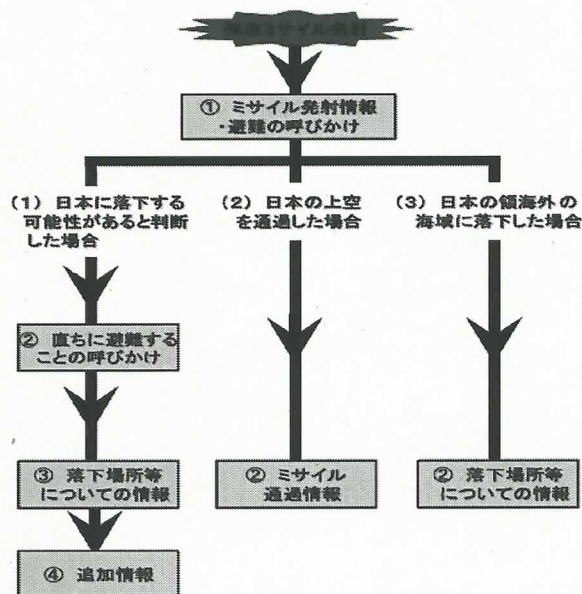
Jアラートによる情報伝達では、

・弾道ミサイルが日本に飛来する可能性があるとして判断した場合に、まず、弾道ミサイルが発射された旨の情報(①)を伝達し、避難を呼びかけます。屋外にいる場合は、近くの頑丈な建物や地下(地下街や地下駅舎などの地下施設)に避難して下さい。

・その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとして判断した場合には、続報として直ちに避難することを呼びかけます(①②)。屋外にいる場合には、直ちに近くの頑丈な建物や地下に避難してください。また、近くに適当な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守って下さい。なお、屋内にいる場合には、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動して下さい(※4)。

・その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下したと推定された場合には落下場所等についてお知らせします(①③)。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難してして下さい。

・このほか、日本の上空を通過した場合(②②)、日本まで飛来せず、領海外の海域に落下した場合(③②)には、その旨を続報としてお知らせします。



情報伝達の基本的な流れは、以下のとおりです。